

子育てのワンポイント

お悩み

「自分の思うとおりにならないと、ものを投げたり、奇声を発するので、困ってしまいます。」(1歳児)

行動の意味

自己主張の表れなので、心配する必要はありません。

喃語を話すようになる乳児なら、声を出すのが楽しかったり、興奮して奇声を上げることもあります。それが1歳ごろになると、自分でいろいろできるようになり、自己主張が強くなって、欲求が激しくなります。でも、上手に言葉にできないため、イライラして奇声を発したり、ものを投げたりしてしまうのです。



対応法

子どもの気持ちを言葉にあげましょう

奇声を発したときは、「そんな大きな声を出しちゃダメ!」と、ただ怒るだけでは、子どもは余計エスカレートしてしまいます。「もし言葉が言えたなら、何ていうだろうな?」と、子どもの思いをつかんで、「まだ遊びたいの?」「これ欲しかったの?」などと、その子が本当に伝えたかった気持ちを言葉にしましょう。大人と同じ合える喜びを感じとることで、やがて子どもは会話の楽しさを知ることにつながっていきます。自分で思ったこと、訴えたかったことなどを言葉でいえるようになると、奇声を発したり、ものを投げるといった行動は減っていきます。

「0歳児から5歳児行動の意味とその対応」 今井和子著より

今月の絵本

おさんぽ おさんぽ

広野多珂子/作,絵 ・ 福音館書店

ぴっちゃん ぽっちゃん

accototo ふくだとしお+あきこ/作,絵 ・ 大日本図書



7月の予定

- ☆ 4日(木) 七夕会
- ☆ 19日(金) 子育て学習会
「乳幼児の熱中症・夏の過ごし方」
- ☆ 26日(金) 水遊び&プール開放
予約はそれぞれ一か月前から受け付けています。
変更になる場合がありますので、詳細は電話などで確認してください。



今月のわらべうた

ぽっつん ぽつぽつ
あめがふる
ぽっつん ぽつぽつ
あめがふる
ざあーっと あめがふる



今月のうた

かえるのうた
かえるのうたが
きこえてくるよ
クワクワクワクワ
ケケケケ ケケケケ
クワクワクワ

